

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハビー津田沼教室		
○保護者評価実施期間	2025年 7月 25日 ~ 2025年 8月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数) 44
○従業者評価実施期間	2025年 7月 26日 ~ 2025年 7月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様のご意見を聞き、支援に生かしている。	定期的に面談の時間を作るようにし、保護者様に声をかけている。フィードバックの時に話せなかったことや、最近の園やご家庭での様子を詳しく伺い、支援プログラムに反映している。	引き続き定期的に面談ができるよう、保護者様に周知していく。職員の方からも、積極的に声をかけるようにし、可能な限り早めに対応できるよう調整する。
2	ペアレントトレーニング等、保護者様も学べる機会を設けている。	保護者様やお子様の困り感を把握し、ご家庭でも取り組める家族支援をご提案するよう職員間で周知している。	引き続きペアレントトレーニング等の機会を設定し、お子様の特性に合った環境設定や支援について学べるようにいたします。
3	連絡アプリ（コノベル）や紙面で、イベントのお知らせ等を周知している。	すべての保護者様に情報がいきわたるように、連絡アプリ（コノベル）と紙面の両方を活用している。	引き続き、連絡アプリ（コノベル）と紙面でイベントのお知らせ等を周知するようにいたします。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様がフィードバックを集中して聞くことができない場合がある。	職員の配置数が課題となっている。個別支援、集団支援ともにお子様の状況に合わせてフィードバックを行う。	フィードバックの時間に、お子様と支援室で待つ職員を配置する。 連絡アプリ（コノベル）で支援時の様子とフィードバックを送る。
2	子ども用のトイレがない。	子ども用の補助便座をトイレ内に置いていたが、使用してもよいのかわからない状態だった。	子ども用の補助便座の購入を検討する。購入可能ならば、使用方法の注意点も掲示し、トイレ内のわかりやすいところに設置する。
3	支援室が狭い。	建物の構造上、広い部屋やスペースがない。	支援室の広さとご利用者様の安全を考慮した支援プログラムを提供する。